

中・高の英語教育でのアクティブ・ラーニングの在り方 一次期学習指導要領に向けての改善の方向性

最近、中央教育審議会教育課程部会で示された次期学習指導要領の審議まとめ案においては、「主体的・対話的で深い学び」としてのアクティブ・ラーニングの導入・推進が盛り込まれています。今後、中学・高校においても、主体的・能動的に授業に参加するアクティブ・ラーニングの指導等の在り方の具体化が求められています。また、アクティブ・ラーニングの在り方は今後の大学入試改革の方向性にも関わるとされています。

本セミナーでは、自己調整学習及び教育課程・指導方法に関する専門家の方々をお迎えし、アクティブ・ラーニングと学習者の主体性、次期学習指導要領の改訂、大学入試改革の方向性との関わりを主なテーマとしてご講演頂きます。また、現職高校教員の方の実践報告も予定されています。参加者の方々と共に、今後の英語教育の課題と改善の方向性について考える場となれば幸いです。

日時 2016年10月23日(日)
13:00～17:00(12:30受付開始)
場所 熊本大学 黒髪北キャンパス
文・法学部棟1階 A2教室



※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関のご利用をお願い致します。

【プログラム】

講演1「生徒の主体性を伸ばす英語の授業を考える
—自己調整学習の視点から—」

中田賀之 氏 (同志社大学グローバル・
コミュニケーション学部教授)

講演2「英語教育におけるアクティブ・ラーニングの推進とその条件
一次期学習指導要領の改訂や大学入試改革等を踏まえて」
向後秀明 氏 (文部科学省初等中等教育局教科調査官)

質疑応答・討議

実践報告「福岡県英語教員指導力向上対策事業での研修・実践報告」
小西洋平 氏 (福岡県立山門高等学校教諭)

参加費無料

【お申し込み・お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学研究科 社会人大学院教育支援センター
Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:full1102@kumamoto-u.ac.jp

※できるだけ、前日までに電話/FAX又はe-mailでお申し込みをお願い致します。

氏名・所属先とともに、「英語教育セミナー参加希望」と明記してください。

詳細は「社会文化科学研究科ホームページ」をご覧ください。

<http://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp>